

三島市の危機管理

～先進的な取組の紹介～

令和6年2月7日
三島市危機管理課

●新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に位置付けられ、三島市の防災会議も3年ぶりに対面での開催となりました。このことを踏まえ、きょうは改めて「三島市の危機管理」、先進的な取組についてお話しします。

●きょうのポイントは、次のとおりです。

- ① 防災計画・マニュアル整備と災害対応訓練
- ② 自主防災組織の防災力アップ
- ③ 住民への防災教育、啓発
- ④ 市役所全体で防災力アップ
- ⑤ 防災DXの推進

① 防災計画・マニュアル整備と災害対応訓練

BCP(業務継続計画)の策定・運用

三島市業務継続計画

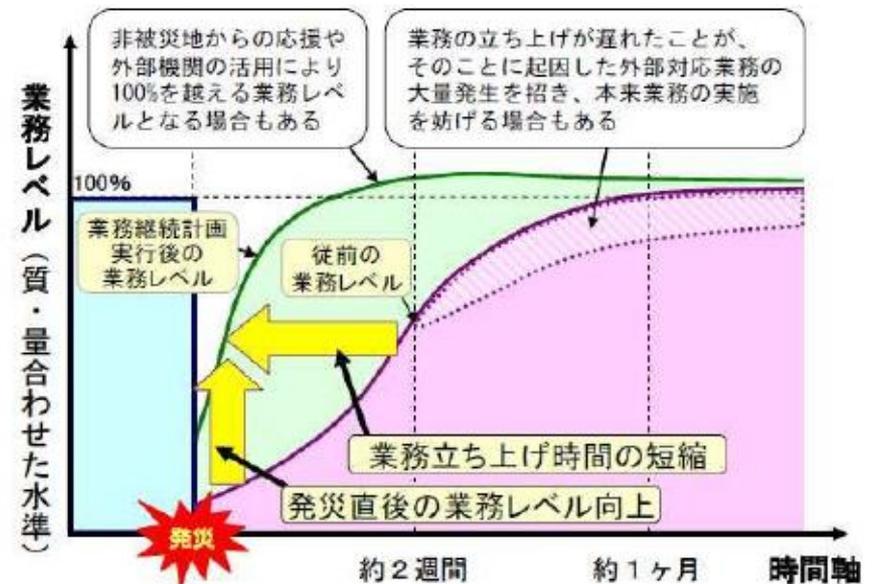
(地震対策編)

令和5年7月
三島市

【特徴】 地震対策

- 平成24年度に策定(早期に取り組んだ)・
毎年見直しを実施
- 大規模な災害時にあっても適切な業務執行を可能にする体制を整備

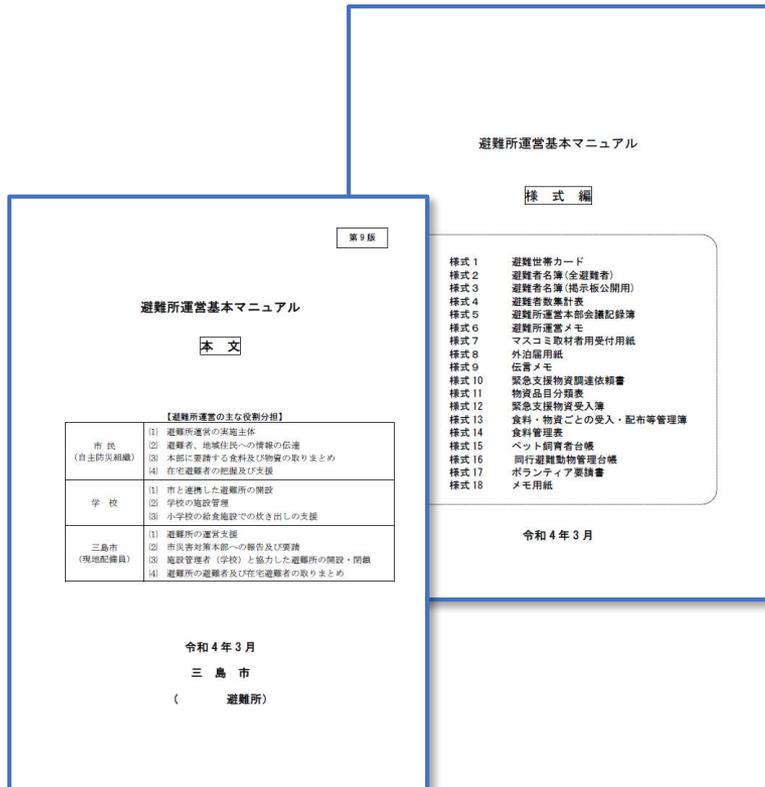
BCP策定の効果



避難所運営基本マニュアルの整備

【特徴】 地震対策 水害対策

- 平成25年度に策定(早期に取り組んだ)・
毎年見直しを実施
- 東日本大震災の教訓を踏まえ、高齢者、障がい者、女性等の災害弱者に配慮した避難所運営を行えるよう定めた
- すべての避難所(23箇所)のレイアウトを策定
- 各活動班の役割に優先順位をつけて、実践的なマニュアルとした
- 市災害対策本部、避難所運営本部、自主防災本部との連携を明確にした
- 初めて見た人でもわかりやすい構成とした
- 避難所開設アクションシートを導入
(平成30年6月)



女性の視点を生かし、運営組織における女性班の設置、避難所内の授乳・育児スペースの設置等も反映！

職員参集訓練／水防訓練

【職員参集訓練】 地震対策

- 大規模な地震が発生した場合を想定し、参集メールの受信応答や徒歩、自転車等による参集など、職員の初動体制の基本的事項を確認する訓練（年度当初）
- 市災害対策本部の設置訓練も同時に実施



市災害対策本部設置訓練の様子

【水防訓練】 水害対策

- 出水期を控え、実際に大雨による災害発生を想定し、市災害対策本部における情報処理訓練と、関係機関との連携を確認するための訓練（毎年5月）
- 実際に災害が発生した場合も想定して実施



電話による情報受付訓練

本部における情報処理訓練



三島市総合防災訓練(令和5年度 分散型訓練)



啓発会場(市民文化会館屋外広場)

【主旨】 地震対策

- 突発的な大地震による大規模に災害が発生したことを想定し、防災関係機関や自主防災組織との連携を強化するとともに、市民の防災意識の向上を図るために実施
- 集中的に訓練を実施する「実動型訓練」と市内各所でそれぞれ実施する「分散型訓練」を隔年で実施（R6年度は実動型訓練を予定）



救護医院情報伝達訓練



拠点給水訓練

三島市総合防災訓練(令和4年度 実動型訓練 南二日町広場)



情報収集訓練(ドローン)



土砂除去訓練



夜間照明訓練(照明車)



倒木除去訓練



水道管路応急復旧訓練



炊き出し訓練

風水害時市民避難行動訓練／シェイクアウト訓練

【風水害時市民避難行動訓練】 水害対策

●出水期に入り、「土砂災害警戒区域」・「浸水想定区域」を有する90の自治会等の避難対象地区の住民が迅速に避難行動を行えるようにするため、全市一斉の情報伝達訓練を実施。（「土砂災害防止月間」の活動）

【シェイクアウト訓練】 地震対策

●「日本シェイクアウト提国会議」の認定を受け、地震による揺れを感じた想定で、その場で1分間、安全行動の1-2-3(まず低く、頭を守り、動かない)を一斉に実施。毎年3/11を基本として実施 ※昨年度は137団体・約16,000人が参加



富士ビレッジ地区における訓練の様子(R4)



市内保育園での実施の様子

チラシ・ポスター(R5)

自らの命は自ら守る！ 1分間の安全行動

三島市シェイクアウト訓練

(市内一斉行動訓練)

令和6年 3月11日(月) 午前10時

訓練開始

対象 市内の学校・企業・団体・自治会、市内在住・在勤・在学の個人 など

訓練開始の会場

同報無線(声の広報)、市民メール、LINEなど

※地震防災訓練アプリはサービスの提供を終了しました。

訓練1【必須】

3つの安全行動1-2-3の実践(1分間)



まず低く 頭を守り 動かない

提供：日本シェイクアウト提国会議

訓練2【任意】

避難、安否確認、情報収集・伝達、救助・救出、応急手当訓練、水・食料・備蓄品の保管場所の確認などを実施

★効果的な訓練とするため事前学習をしてください。

- ・市公式ホームページの公開資料で身を守る行動の確認を行い、訓練の参加意欲を高めます
- ・三島市地震防災マップで地震の危険度や地震発生後の行動を確認！
- ・家族や職場、近隣住民と地震発生後の行動について話し合い！

★事前の参加登録をお願いします！



参加人数を把握するため、市公式ホームページ(電子申請)、FAX(裏面)、電話で参加人数をご報告ください。
事前参加登録期間：3月7日(木) 午後5時まで (参加人数は見込み人数をご報告ください。)

【お問合せ】 三島市企画戦略部危機管理課 電話 055-983-3351 FAX 055-981-7720

ペット同行避難訓練／遺体措置訓練

【ペット同行避難訓練】 地震対策 水害対策

- 災害発生時にペットと安全な避難場所へ避難することの重要性のほか、避難所における受入れ体制の構築、ペットを飼育していない人にもペットの避難について理解を深めていただくことを主眼として県とともに実施



山田中学校における訓練の様子(R3)

【遺体措置訓練】 地震対策

- 大規模災害時に多数の死者が発生した場合に、遺体収容所(北上公民館)において、市、警察、医師会、歯科医師会、葬祭事業者が連携して行う遺体受入れ、検視・検案、歯牙鑑定、遺体処置・安置の訓練を一連の流れで実施



遺体受入れ訓練



歯牙鑑定訓練

被災者支援総合窓口対応訓練

【主旨】 地震対策

●大規模地震などの被災者を一元的に支援する総合窓口の設置や相談対応の訓練を実施。受付から罹災証明書の発行、住宅支援、支援金・見舞金等、災害ごみの受付といった窓口のほか、弁護士会、司法書士会、行政書士会による「よろず相談」の窓口も設置し、被災者の迅速・的確な支援につなげる目的。(生涯学習センター3階に設置)



罹災証明書受付窓口



よろず相談受付窓口

② 自主防災組織の防災力アップ

自主防災組織事務説明会

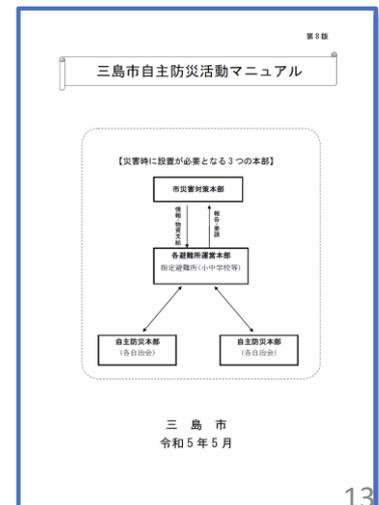


R5年度説明会の様子（社会福祉会館4階）

【主旨】 地震対策 水害対策

●毎年度当初(5月)に、自主防災組織(自治会)が活動する上で、平常時・災害時の基本的な活動内容や、自主防災活動の活性化のための市の支援内容を盛り込んだ「自主防災活動マニュアル」を基に、市内143の自主防災組織に直接、市の重点実施事項や補助制度などについて説明する場を設けている。

三島市自主防災活動
マニュアル(R5)



自主防災組織リーダー研修会



R5年度研修会の様子（総合防災センター）



R4年度研修会の様子（小・中学校体育館）

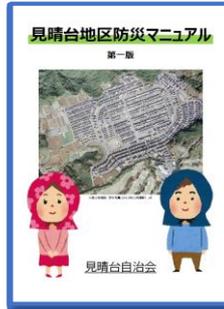
【主旨】 地震対策 水害対策

- 毎年度(6～7月)に、自主防災組織を対象に、防災力の強化を目的として、避難所の開設訓練や運営に係る図上訓練を実施。
- 令和5年度はHUG(避難所運営ゲーム)による避難所運営の図上訓練を計8回にわたり実施した。
- 令和4年度は実際に小・中学校の体育館で、避難所の設営を目的とした避難所開設訓練(夜間)を計8回にわたり実施した。
- 今後も実動訓練と図上訓練を交互に実施していく。

地区防災計画策定の促進



中島地区(H31.3)



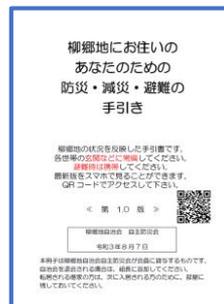
佐野見晴台地区(H31.3)



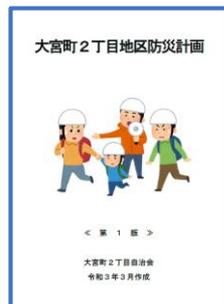
三恵台地区(R2.4)



安久地区(R4.2)



柳郷地地区(R4.2)



大宮町二丁目地区(R4.2)



多呂地区(R5.2)



加屋町地区(R5.2)

【主旨】 地震対策 水害対策

●「地区防災計画」…

市町村内の一定の地区内の居住者や、事業所を有する事業者が共同して行う**防災訓練**、**防災活動に必要な物資及び資材の備蓄**、**災害が発生した場合における相互の支援**、**その他の防災活動に関する計画**

●市ホームページで、わかりやすい計画作成例を示すとともに、防災訓練や自主防災組織事務説明会などで作成について周知

●作成に至った自治会・町内会それぞれの計画を広く周知し、市域全域での作成を後押ししている。

●令和6年1月現在、市内8地区が計画を策定済

防災力アップ！人材育成講座



市民トリアージ講座



重量物除去訓練

【主旨】 地震対策 水害対策

●「防災の知識を得たい」、「訓練のマナーリ
化を打破したい」と考える市民や自主防災
組織を対象に、毎年度(10～11月)に、講
座を開催している。

●令和5年度実施内容

◆市民トリアージと身近なものを使った応急手当

(NPO法人災害・医療・町づくり:理事 安田 清氏)

◆要支援者(高齢者・障がい者など)の避難支援 を考えよう

(三島市福祉応援大使 河合 孝彦氏)

◆ゲーム形式で楽しく学ぶ！被災後の生活再建

～支援制度の徹底活用～ (弁護士 永野 海氏)

◆重量物除去訓練 ほか

(富士山南東消防本部三島消防署員)

③ 住民への防災教育、啓発

パパとママのための防災教室／防災講演会

【パママ教室】 地震対策 水害対策

- 「もっと身近で気軽に参加できるような防災教室を」との声に応え、平成27年度から毎年開催。(R5からパパも対象！)
- 毎日忙しいパママのため、「家族みんなの防災計画」や「応急手当教室」といった実践的な講座となっている。



応急手当教室(三島消防署)

【防災講演会】 地震対策 水害対策

- 各家庭、各地区における気象災害や大規模地震への備えについて理解を深めるために平成21年度から開催している。
- 有識者による講演で、市民一人ひとりの防災意識の高揚を図っている。
(本年度はR6.3.3に開催予定)



防災講演会の様子(順天堂大学三島キャンパス)

感震ブレーカー設置補助／家具固定

【感震ブレーカー設置補助】 地震対策

- 地震発生時における火災による被害を軽減し、市民の生命、身体及び財産を守るため、感震ブレーカーを設置する者に対して補助金を交付するもの
(例)既存住宅に設置の場合、補助対象経費に2/3を乗じて得た額とする。(上限は25,000円)



【家具固定】 地震対策

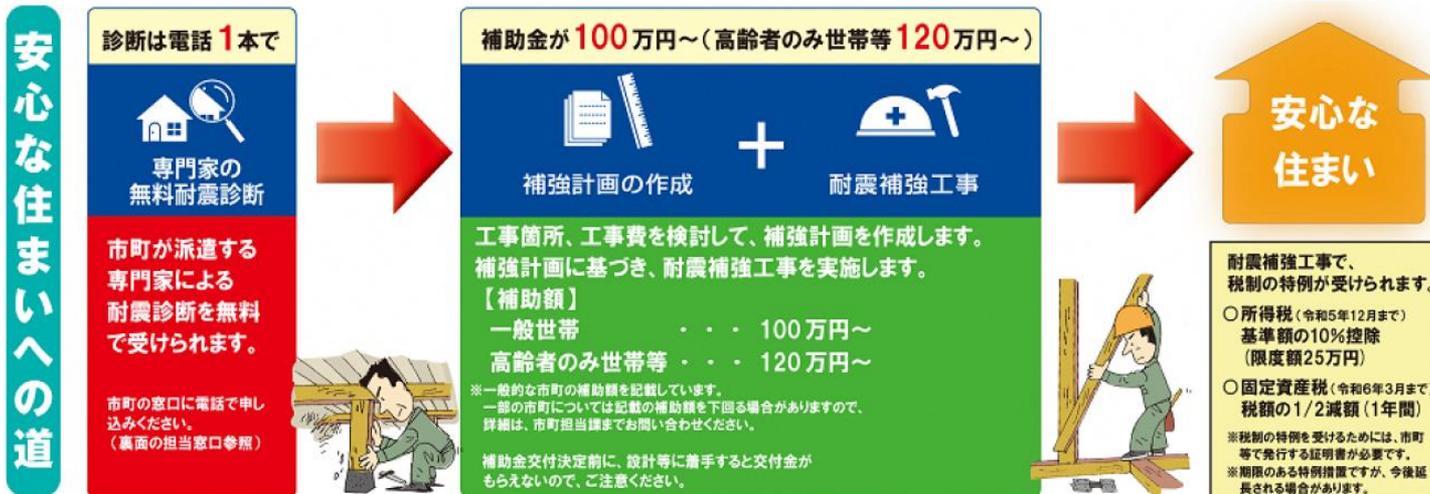
- 家具の固定器具の取り付けが自力では困難な世帯を対象に、家具転倒防止器具の取り付けを行うもの。
- 取り付け費用は家具5品まで無料、家具の固定器具の料金は自己負担。



建築物の耐震補強

【主旨】 **地震対策** 所管…住宅政策課

- 予想される巨大地震による人的被害の低減を目的に、1981(昭和56)年5月以前に建築した木造住宅について、無料の耐震診断(R6年度まで)、耐震補強や除却に補助金(耐震補強工事は最大120万円、除却工事は最大30万円)を交付(R7年度まで)する事業を実施中。希望する地区(自治会)に、本制度による耐震診断・耐震補強に関する説明会・相談会を実施。
- このほか、地震発生時の避難路の安全や緊急輸送車両の円滑な通行の確保を図るため、倒壊や転倒の危険性の高いブロック塀等の除却や建替を促進する事業も実施



※金額はいずれも令和4年4月現在

※静岡県ホームページより

④ 市役所全体で防災力アップ

排水ポンプ車／加圧式給水車の導入

【排水ポンプ車】 水害対策

所管…土木課

- 内水排除対策の増強のため令和2年度に2台導入。主に御園地区に配備。
- 導入にあたって、国の「緊急自然災害防止対策事業債」を活用した県内初の事例
- 小学校の25mプールを10分で空にできる排水能力
- 有事の際は、三島建設業協力会にポンプ車運転、設置、稼働、撤収までの一連作業を依頼



排水ポンプ車

【加圧式給水車】 地震対策 水害対策

所管…水道課

- 災害時の応急給水体制の強化のため令和2年度に1台導入。
- 給水タンク及び加圧ポンプを搭載(車両一体型)
- 配水能力:1,600リットル(約533人が1日に使う分の飲料水に相当)
- 加圧ポンプにより高さ25メートル(ビルの約7階)まで送水が可能



加圧式給水車

オフロードバイク隊



【主旨】 地震対策 水害対策

- 大規模災害時にライフラインが寸断された際に、損壊した道路や建物が散乱する中で被害情報の収集を行うことを目的に市職員有志で平成14年度に結成。
- 隊員数…13人（女性2人含む）
- バイク台数…12台
- 参集基準…市内で震度4以上の地震発生時・危機管理監からの参集命令があったとき
- 任務…緊急輸送路や災害拠点病院等の被害調査、本部の指示による情報収集、医薬品等の輸送、水位監視

⑤ 防災DXの推進

消防団ドローン隊(レッドウイングス)



坂小学校体育館内における飛行訓練

【主旨】 地震対策 水害対策

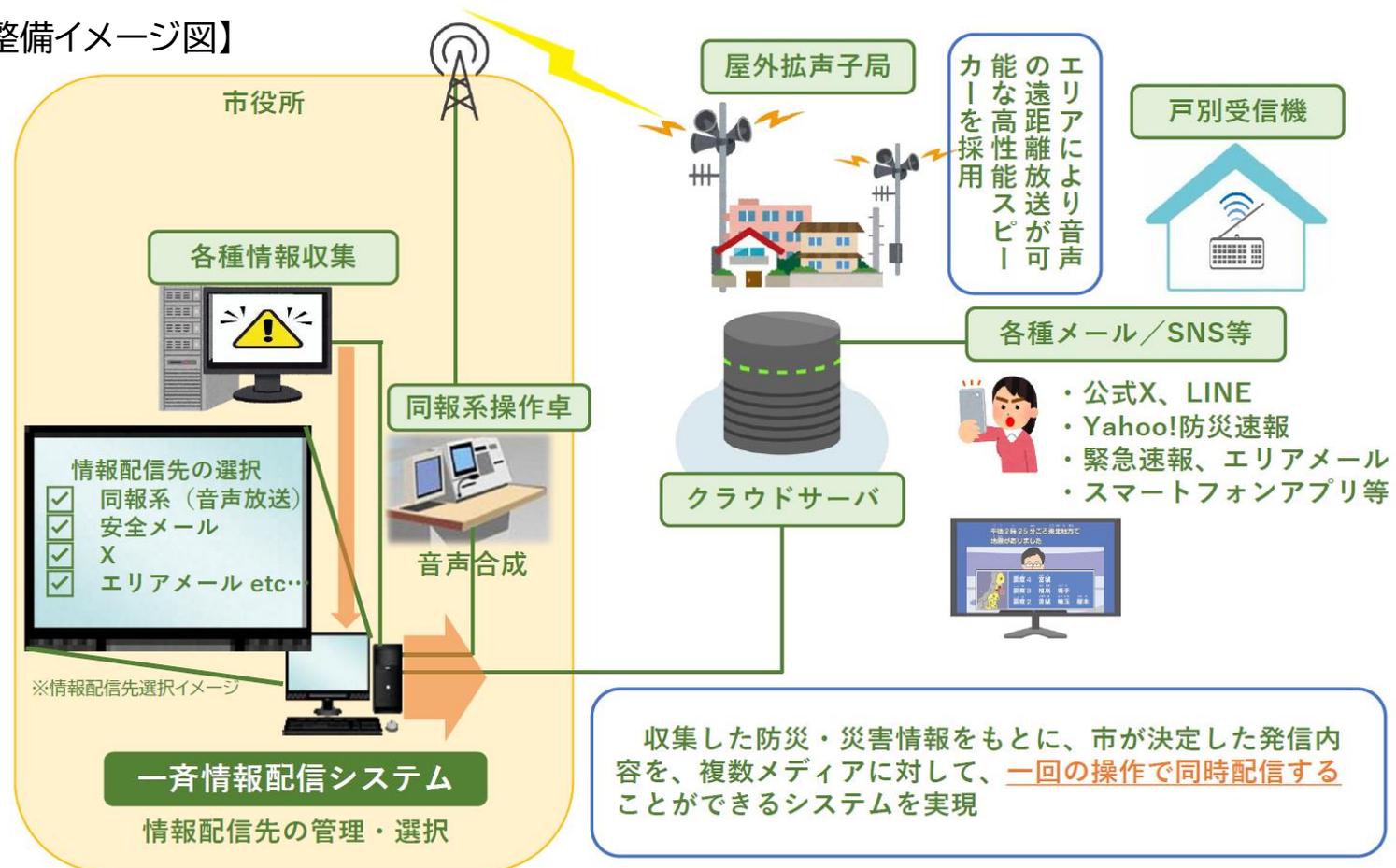
- 令和4年度に、三島市外五ヶ市町箱根山組合からドローン2台の貸与を受け、消防団内から有志を募り、ドローン隊「REDWINGS」を結成した。
- 隊員数…21人（女性団員2人含む）
- 保有ドローン台数…2台
- 任務…無人航空機を使用しての災害・捜索・調査時等における情報収集活動及び消防団の広報活動等
- 令和5年6月2日の大雨対応では、市内のがけ崩れ箇所について、上空からの現地調査を実施した。

防災行政無線(同報系)のデジタル化再整備

【主旨】 地震対策 水害対策

● 現行のアナログ波による同報無線は設備の老朽化が著しいため、デジタル化による再整備を推進している。令和8年度までに下図のイメージに沿って再整備を行う予定。

【再整備イメージ図】



河川監視カメラ・水位センサの設置(水環境デジタル監視システムとの連携)

河川監視カメラの設置(祇園大橋)



拠点名: 祇園大橋 (大場川 / 大宮町)

ライブ画像一覧

水位一覧

拠点(詳細)

■ ライブカメラ映像

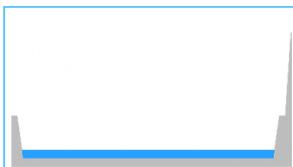


■ 正常時映像



リアルタイムデータ

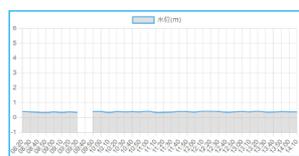
水位



■ 水位変化グラフ

10分

1時間



■ 水位グラフ

日時	水位(m)
02/02 14:10	0.38
02/02 14:00	0.38
02/02 14:09	0.39

【主旨】 水害対策

- 災害対策本部において、河川の状況を確認できるようにするため、河川監視カメラと水位センサからなる「河川等監視装置」の設置を令和2年度から継続している。
- このほか、各課で設置した監視カメラの映像等と合わせて「水環境デジタル監視システム(通称:水DX)」との連携により、リアルタイムの河川画像とAIで予測した水位を市ホームページで閲覧できるようになっている。

市ホームページでの閲覧

SNS情報自動収集解析システムの活用

【SNS情報自動収集解析システムの仕組み】

①ビッグデータ収集

X,TikTok,facebook,YouTube,Instagramなど



②AI解析・デマ情報排除



③真正な情報の表示

【主旨】 地震対策 水害対策

- 災害時で市が収集する情報には、SNS投稿された情報も含まれるが、被害状況を正確に把握し、デマ情報を排除するため、「SNS情報自動収集解析システム」を活用している。
- 令和5年度は、民間事業者「Spectee（スペクティー）」と契約し、AI解析などによりデマ情報が排除された投稿内容の確認を行っている。

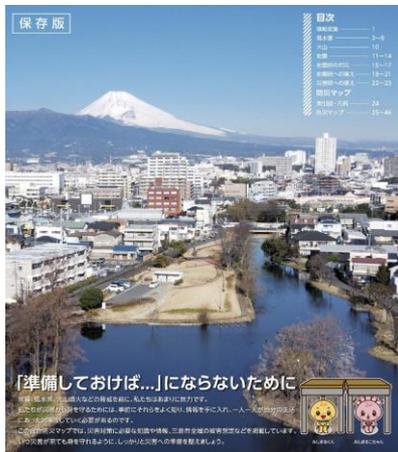


WEBハザードマップの整備

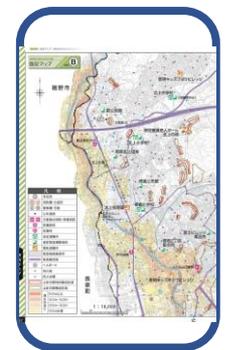
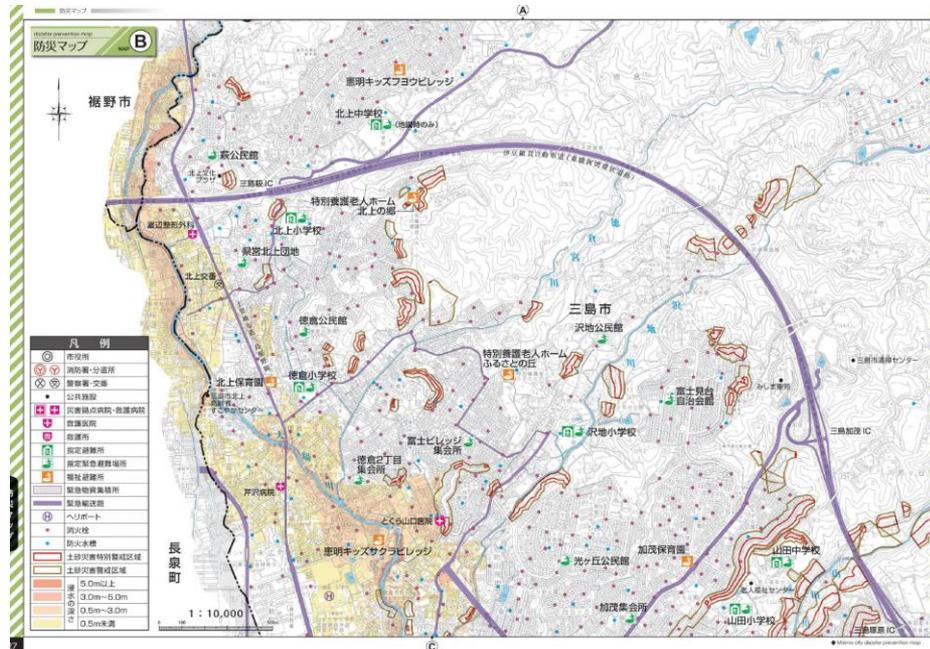
【主旨】 地震対策 水害対策

- 令和5年度(本年度)に「WEBハザードマップ」を作成しており、令和6年4月より運用を開始する予定。紙の三島市総合防災マップに掲載の内容をスマートフォン、パソコン等で閲覧・確認できるようにするもの。
- 今後はさらなる内容の充実に加え、多言語化を推進していく。

【総合防災マップの内容を「携帯」できる】



三島市総合防災マップ
Mishima City General Disaster Prevention Map
令和2年3月発行



御清聴ありがとうございました